

IBM SPSS Statistics
バージョン 28

許可ユーザー・ライセンス管理者ガイド



目次

第 1 章管理者ガイド	1
開始する前に.....	1
ゴースト化.....	1
Citrix およびターミナル・サービス.....	1
ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品のインストール.....	1
Windows コンピューターへのインストールのプッシュ.....	2
macOS コンピューターでのサイレント・インストールの実行.....	6
licenseactivator の使用.....	6
ライセンス・ファイル.....	7
サービスとサポート.....	8

第1章 管理者ガイド

以下の説明は、IBM® SPSS® Statistics 28 にユーザー許諾ライセンスのライセンス・タイプを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、IBM SPSS Statistics を複数のコンピューターにインストールできます。その数は購入したライセンス数に制限されます。

開始する前に

認証コードが必要です。認証コードにより、管理者とエンド・ユーザーは、IBM SPSS Statistics のライセンスを取得できるようになります。

認証コードの取得方法に関する別個の指示を受け取っていると思います。認証コードが見つからない場合は、<https://www.ibm.com/products/spss-statistics/support> にアクセスして、カスタマー・サービスに連絡してください。

ゴースト化

ソフトウェアのゴースト化を行う場合は、ライセンスへの準拠を容易にするために次の方法をお勧めします。

- コンカレント・ライセンスに移行する。
 - または -
- 認証済みユーザー・ライセンスを使用するが、ゴースト化イメージのソフトウェアにはライセンスを許可しない。各エンド・ユーザー・マシン上のソフトウェアにライセンスを許可します。

ソフトウェアのゴースト化を選択した場合、上記2つの推奨方法のいずれかを使用しないときは、ライセンスへの準拠を維持していくことが非常に難しくなります。ライセンスへの準拠の維持についてのご質問は、IBM Corp. にお問い合わせください。

Citrix およびターミナル・サービス

Citrix およびターミナル・サービスで IBM SPSS Statistics を使用するには、コンカレント・ライセンスが必要です。ライセンスの移行については IBM Corp. にお問い合わせください。

ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品のインストール

エンド・ユーザーのコンピューターにローカルで製品のフルインストールを行うには、2つの方法があります。各コンピューターに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼働しているコンピューターにインストールをプッシュできます。macOS では、サイレント・インストールを実行することもできます。

ローカル・デスクトップでの手動インストール

1. **インストール・メディアを用意します。** 製品の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク・ドライブにファイルを解凍します。物理インストール・メディアがある場合、DVD/CD のコピーを必要な数だけ作成するか、メディアを共有ネットワーク・ドライブに置きます。
2. **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備します。** 製品のインストール手順書のコピーを必要な数だけ作成します。インストール手順書はダウンロード・サイト から入手できます。また、物理インストール・メディアを受け取っている場合は、DVD/CD の `/Documentation/<language>/InstallationDocuments` ディレクトリにあります。ご使用のライセンス・タイプに対応する指示書を探します。インストール後に、エンド・ユーザーは、サイトの認証コードを入力する必要があります。手順書をコピーする前に、手順書の冒頭に用意されているスペースにこの情報を入力します。

注: プロキシ・サーバーによって認証が妨げられる場合は、*licenseactivator* の使用を検討してください。これによって、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳しくは、6 ページの『*licenseactivator* の使用』のトピックを参照してください。

3. インストールに必要なものをエンド・ユーザーに配布します。ダウンロード済みファイル(またはネットワーク上の場所、またはインストール DVD/CD)、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピューターに手でインストールできるエンド・ユーザーに必要なに応じて配布します。

Windows が稼働しているローカル・デスクトップへのプッシュ

IBM SPSS Statistics のインストールは Microsoft Windows インストーラー (MSI) との互換性があるため、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールをプッシュできます。

Windows コンピューターへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュとは、ソフトウェアを任意の人数のエンド・ユーザーに、ユーザーの介入なしにリモートで配布する手法です。IBM SPSS Statistics のフルインストールを、Windows が稼働しているエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

注: macOS では、インストールのプッシュは直接には実行できません。代わりに、サイレント・インストールを実行できます。詳しくは、6 ページの『macOS コンピューターでのサイレント・インストールの実行』のトピックを参照してください。

前のバージョンの上書き

前のバージョンの IBM SPSS Statistics がインストールされていたのと同じディレクトリーにプッシュする場合、インストーラーは既存の SPSS Statistics インストール済み環境を上書きします。オプションで、インストールのプッシュ時にアンインストールをプッシュできます。詳しくは、5 ページの『アンインストールのプッシュ』のトピックを参照してください。

プッシュ・インストールのプロパティー

プッシュ・インストールに使用できるプロパティーには、以下のものがあります。すべてのプロパティーで大文字と小文字が区別されます。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

プロパティー	説明	有効な値	デフォルト (該当する場合)
INSTALLDIR	IBM SPSS Statistics のインストール先となる、エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューター上のディレクトリー。このプロパティーはオプションです。このプロパティーを指定しなかった場合のデフォルトは <i>C:¥Program Files¥IBM ¥SPSS¥Statistics</i> です。	<i>C:¥Statistics</i> などの有効なパス。	<i>C:¥Program Files¥IBM ¥SPSS¥Statistics</i>

表 1. プッシュ・インストールのプロパティ (続き)

プロパティ	説明	有効な値	デフォルト (該当する場合)
AUTHCODE	認証コード。このプロパティを指定した場合、認証コードを使用して製品が自動的に認証されます。このプロパティを指定しなかった場合、各エンド・ユーザーがライセンス認証ウィザードを実行して、手動で認証を行う必要があります。	1つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードを指定する場合は、コロンで区切ります (例: <i>authcode1:authcode2</i>)。	
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。AUTHCODE パラメーターを指定し、インターネットへの接続でユーザー ID とパスワードが必要なプロキシを現在のサイトで使用している場合は、このパラメーターを指定する必要があります。コントロール・パネルの「インターネットオプション」の「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」で、特定のプロキシ・サーバーのアドレスとポートが指定されている場合のみ、このパラメーターが機能します。	有効なプロキシ・ユーザー ID。	
PROXY_PASSWORD	プロキシ・ユーザーのパスワード。詳細については、PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシ・ユーザー ID に関連付けられたパスワード。	
ENABLE_CONNECTIONS	インターネット接続機能 (情報の共有、エラー・レポート、およびウェルカム画面の更新) を有効または無効にします。	YES または NO	

MSI ファイル

IBM SPSS Statistics.msi ファイルは、ダウンロードした eImage を解凍したコンテンツの Windows \SPSSStatistics\ ディレクトリにあります。

コマンド・ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド・ラインの例を以下に示します。すべてのテキストを1行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Statistics.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:\Statistics" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM SPSS Statistics をプッシュする際の基本的な手順を以下に示します。

1. ソフトウェアをダウンロードしたら、まず eImage のコンテンツを解凍し、*Windows\SPSSStatistics* ディレクトリーの下位にある該当するサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。
2. コピーしたディレクトリーにある *IBM SPSS Statistics.sms* ファイルを編集します。テキスト・エディターを使用して該当するプロパティーを追加することで、**CommandLine** の値を変更します。使用可能なプロパティーのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』を参照してください。コマンド・ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
3. *IBM SPSS Statistics.sms* ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・マシンに配布します。

グループ・ポリシーまたは関連技術を使用したインストールのプッシュ

1. ソフトウェアをダウンロードしたら、まず eImage のコンテンツを解凍し、*Windows\SPSSStatistics* ディレクトリーの下位にある該当するサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。
2. ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーしたフォルダー配下の適切な *IBM SPSS Statistics 28.msi* ファイルでプロパティー・テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に付属しています。<http://www.microsoft.com/downloads> にアクセスして、「SDK」で検索してください。プロパティー・テーブルに追加できるプロパティーのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』を参照してください。必ず、正しい MSI ファイルを使用してください。
3. 編集済みの *IBM SPSS Statistics 28.msi* ファイルを使用してパッケージを作成し、このパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターに配布します。

英語以外のシステムにインストールをプッシュする

追加の指定をすることなく、英語以外のシステムにインストールをプッシュすることができます。ただし、インストーラーの言語 (対話インストールをプッシュする場合)、ユーザー・インターフェース、ヘルプはすべて英語で表示されます。ユーザーは、インストール後にユーザー・インターフェースの言語を変更できますが、ローカライズされたヘルプは使用できません。

TRANSFORMS プロパティーを使用して、DVD/CD またはダウンロードした eImage に含まれているいずれかの MST ファイルを指定することができます。MST ファイルを使用すると、インストーラー、ユーザー・インターフェース、ヘルプを、指定の言語で表示することができます。IBM SPSS Statistics をダウンロードした場合、MST ファイルは使用できません。その場合ユーザーは、ローカライズされたヘルプの言語パックを手動でインストールし、製品のユーザー・インターフェース言語を手動で変更する必要があります。

TRANSFORMS プロパティーは、*MsiExec.exe* のパラメーターです。以下の例では、TRANSFORMS プロパティーを使用して、フランス語のインストールをプッシュしています。この場合、インストーラーとユーザー・インターフェースがフランス語で表示され、フランス語のヘルプがインストールされます (ヘルプの言語を HELPCHOICE プロパティーでオーバーライドすることもできます。詳しくは、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティー』のトピックを参照してください。) すべてのテキストを1行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Statistics 28.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:\Statistics" LICENSETYPE="Network" LSHOST="mylicserver" TRANSFORMS=1036.mst
```


DVD/CD の *Windows¥SPSSStatistics¥* ディレクトリーに次の言語 MST ファイルがあります。eImage をダウンロードした場合、これらのファイルは抽出された eImage ファイルのルート・ディレクトリーに格納されています。

言語	MST ファイル
英語	1033.mst
フランス語	1036.mst
ドイツ語	1031.mst
イタリア語	1040.mst
日本語	1041.mst
韓国語	1042.mst
ポーランド語	1045.mst
ロシア語	1048.mst
スペイン語	1034.mst
中国語 (簡体字)	2052.mst
中国語 (繁体字)	1028.mst

アンインストールのプッシュ

注: アンインストール・コマンドをプッシュすると、エンド・ユーザーによるカスタマイズが失われます。特定のユーザーについてカスタマイズが必要な場合は、それらのユーザーを配布対象から除外して、製品を手動でインストールするように依頼してください。

新しいバージョンの IBM SPSS Statistics のインストールをプッシュする場合、最初にアンインストールを行うことをお勧めします。これは、解凍した extracted ファイルに含まれている push_uninstall.bat ファイルを使用してサイレントに実行できます。

次の表に、これまでのリリースのアンインストール ID をリストします。

バージョン	アンインストール ID
28.*	バージョン 28 からは、製品のアンインストールに push_uninstall.bat ファイルを使用します。
27.0.1	{4FEFE042-19D2-47AD-9D27-B24710418A05}
27.0	{8EAD21F8-AD8B-4C6F-ABE6-92357CAB043E}
26.*	{1AC22BAE-DC13-4991-9910-AE3743A4592D}
25.*	{C2D1E17D-CB8A-4742-84FA-1DB5C6A1ABDD}
24.*	{4762AE15-E5A3-43BF-8822-1CFC70FB147A}
23.*	{C3BA73A4-2A45-4036-8541-4F5F8146078B}
22.*	{104875A1-D083-4A34-BC4F-3F635B7F8EF7}
21.*	{1E26B9C2-ED08-4EEA-83C8-A786502B41E5}
20.*	{2AF8017B-E503-408F-AACE-8A335452CAD2}
19.*	{06C43FAA-7226-41EF-A05E-9AE0AA849FFE}

表 3. IBM SPSS Statistics のアンインストール ID (続き)

バージョン	アンインストール ID
18.*	{C25215FC-5900-48B0-B93C-8D3379027312}
17.0.2	{2ECDE974-69D9-47A9-9EB0-10EC49F8468A}
17.0.1	{46B65150-F8AA-42F2-94FB-2729A8AE5F7E}
17.0.0	
16.*	{621025AE-3510-478E-BC27-1A647150976F}

macOS コンピューターでのサイレント・インストールの実行

サイレント・インストール (自動インストール) の場合、グラフィカル・インターフェースは表示されず、ユーザーによる操作は必要ありません。

次のコマンドを使用して、サイレント・インストールを実行します。macOS では、root として実行するか、sudo コマンドを使用して実行する必要があります。

```
sudo installer -pkg IBM\ SPSS\ Statistics.pkg -target /
```

注: アクティブなライセンスの macOS 上でサイレント・インストールをプッシュする場合、サイレント・インストール・コマンドを実行し、インストールの完了後に licenseactivator ツールを呼び出すスクリプトを作成する必要があります。例:

```
sudo installer -pkg IBM\ SPSS\ Statistics.pkg -target /
cd /Applications/IBM\ SPSS\ Statistics/Resources/Activation
licenseactivator [authcode]
```

licenseactivator ツールは、/Applications/IBM SPSS Statistics/Resources/Activation にインストールされています。

インターネット接続機能の無効化

インストール後に、次のコマンドを使用して、インターネット接続機能 (情報の共有、エラー・レポート、およびウェルカム画面の更新) を無効にできます。コマンドは、次のように /Applications/IBM SPSS Statistics/Resources/Configuration ディレクトリー (これはデフォルトのインストール場所です) から実行する必要があります。

```
./Configure NO
```

licenseactivator の使用

licenseactivator を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使用しなくても、エンド・ユーザーのコンピューターを認証することができます。このコマンド・ライン・ツールは、以下のいずれかの場所にあります。

- **Windows:** <インストール・ディレクトリー>
- **macOS.** <installation directory>/Resources/Activation

licenseactivator を使用すると、製品のライセンスが交付され、licenseactivator のディレクトリーにログ・ファイルが書き込まれます。このログ・ファイルの名前は licenseactivator_<month>_<day>_<year>.log になります。エラーが発生した場合は、このログ・ファイルを参照して詳細な情報を調べることができます。IBM Corp. にサポートを依頼する場合にも、この情報が役に立ちます。

認証コードでの licenseactivator の使用

licenseactivator は、通常、製品の購入時に受け取った 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname] [PROXYPORT=proxy-port-number]
[PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

注: macOS で作業するときは、`./licenseactivator` を使用します。

- 複数の認証コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、プロキシ経由でコンピューターを使用している場合は、プロキシ設定が必要になることがあります。必要なプロキシ設定は、固有のプロキシ構成によって異なります。すべてのプロキシ設定が必要になることがあります。

PROXYHOST

プロキシ・ホストのサーバー名または IP アドレス

PROXYPORT

プロキシ経由でインターネットに接続するためのポート番号

PROXYUSER

プロキシのユーザー ID (必要な場合)

PROXYPASS

ユーザー ID に関連付けられたパスワード (必要な場合)

ライセンス・コードでの licenseactivator の使用

あまり多くはありませんが、IBM Corp. からライセンス が送付されることがあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

注: macOS で作業するときは、`./licenseactivator` を使用します。

- 複数のライセンス・コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- ライセンス・コードを使用する場合、*licenseactivator* はインターネットには接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

macOS 固有の licenseactivator 機能

macOS システムでの *licenseactivator* の実行に固有の機能と設定は次のとおりです。

ネットワーク・ライセンスの設定

ネットワーク・ライセンスの設定を次の例に示します。

```
./licenseactivator LSHOST= COMMUTE_MAX_LIFE=7
```

activation.properties ファイル経由でのライセンス交付

`activation.properties` ファイルを使用した製品へのライセンス交付を次の例に示します。

```
./licenseactivator -f activation.properties
```

`activation.properties` ファイルのテンプレートは、`<installation directory>/Resources/Activation` に用意されています。

注: 端末ウィンドウに `./licenseactivator --help` と入力して、*licenseactivator* オプションの全リストを表示します。

ライセンス・ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール・ディレクトリーに *lserverc* という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンド・ユーザーの各コンピューターに対して保持しておくことができます。ライセンス・ファイルは、それが作成されたコンピューターでのみ機能しますが、そのコピ

ーがあると、製品のアンインストールや再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストール後に、*lservrc* ファイルを製品のインストール・ディレクトリーにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、サイトでライセンス 交付を受けた製品バージョンごとに、窓口となる技術担当者が、お客様のサイトで 1 人指定されます。この担当者が、お客様の組織内のユーザーに対して、製品に関する支援とオプションを提供することになります。IBM Corp. は、窓口となる技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. 技術サポートを通じて技術的な支援を提供します。ソフトウェアに関する質問は指定された技術担当者に問い合わせるよう、エンド・ユーザーに通知してください。

IBM Corp. 技術サポートに連絡するには、<http://www.ibm.com/support> にアクセスして事象を送信してください。IBM Corp. 技術サポートに登録していない場合は、登録する必要があります。

IBM Corp. は、IBM Corp. 製品の公開トレーニング・セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでトレーニングを受講することもできます。トレーニング・セミナーの詳細については、<http://www.ibm.com/training/spss> にアクセスしてください。

